

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名：緊急地方道路整備事業
- 路線名又は箇所名：大手口佐志線（2工区）
- 事業の概要
 - 工 期：平成7年度～平成17年度
 - 事 業 費：約31億円
 - 事業内容：街路整備 L=470.0m
幅員 W=9.0（18.0）m

【公共事業の効果等】

- 交通混雑の解消
- 歩行者・自転車の安全確保
- 良好な都市環境の創出

【事業実施前の状況等】

本路線は、唐津市中心市街地から西唐津方面へ通じる重要な東西幹線街路である。

しかしながら、整備前は車道が2車線あるのみで歩道が整備されておらず、自動車と歩行者や自転車が輻輳し、大変危険な状況であった。

【事業実施後の状況や県民の声など】

幅広路肩やバス停車帯の整備、主要交差点における右折レーンの設置により交通混雑が解消された。

また、歩道が整備されたことにより歩行者・自転車の安全が確保された他、バリアフリーの観点から点字ブロック、誘導ブロックを設置した。

さらには、無電柱化や街路樹の植栽、まちなみ協定に則したレンガ歩道や街路灯・ポケットパークの整備により、地域が目指したレトロな街並みや地域活性化に寄与している。

（県民の声）

- 歩道整備により、以前より格段に安全性が向上した。
- バス停が出来たため、バスの乗降による待ちがなくなり、利便性が向上した。
- 街路の整備もあって、沿線では大規模な宅地開発がなされ、開発地の住民との連携もポケットパークでの催しなどを通じて広がり、地域の活性化に寄与している。
- ポケットパークでは、毎年井戸さらえ祭りやもちつき大会など地域コミュニティーを広げるための催しを実施している。
- 西唐津のポケットパークは、今までの西唐津の歴史を踏まえた整備をし、ポケットパークの活用は日本一だと自負している。